那須岳の火山活動解説資料（令和６年７月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１～５、図６－１①②、図６－２、図７－①）

湯本ツムジケ平監視カメラ（茶臼岳山頂火口の南東約５㎞）による観測では、茶臼岳の噴気は認められませんでした。なお、日の出平北監視カメラ（茶臼岳山頂火口の南西約 0.8㎞）による観測では、これまでどおり茶臼岳西側噴気地帯で噴気が認められています。

24 日に実施した現地調査では、西斜面（無間地獄）の地熱域の広がりや西斜面の噴気孔Ａの温度に前回（2021 年４月 27 日）と比較して大きな変化は認められませんでしたが、噴気量は低下傾向にあります。北西斜面では噴気及び地熱域は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図６－１③、図７－②、図８）

那須岳付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しました。震源は、主に茶臼岳付近の深さ０㎞付近に分布しました。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図７－③～⑦、図９）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。

図１　那須岳　茶臼岳の状況（７月23日、湯本ツムジケ平監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和６年８月分）は令和６年９月９日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。

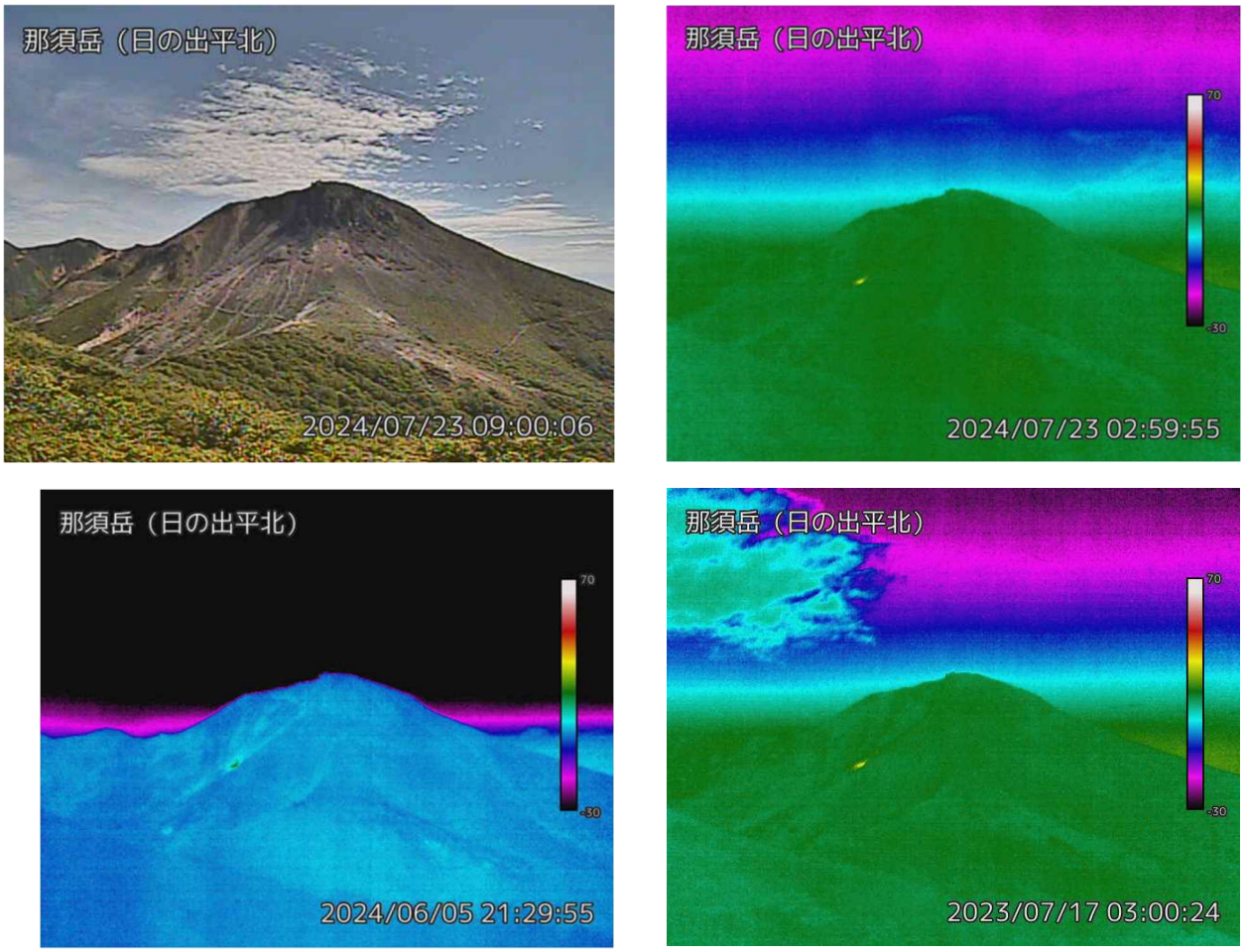


図２　那須岳　茶臼岳の西側斜面の可視画像と地表面温度分布（日の出平北監視カメラによる）

・噴気地帯に対応している場所で引き続き高温部分が認められます。
・前月（左下図）及び前年（右下図）と比較して、地表面温度分布に特段の変化は認められません。

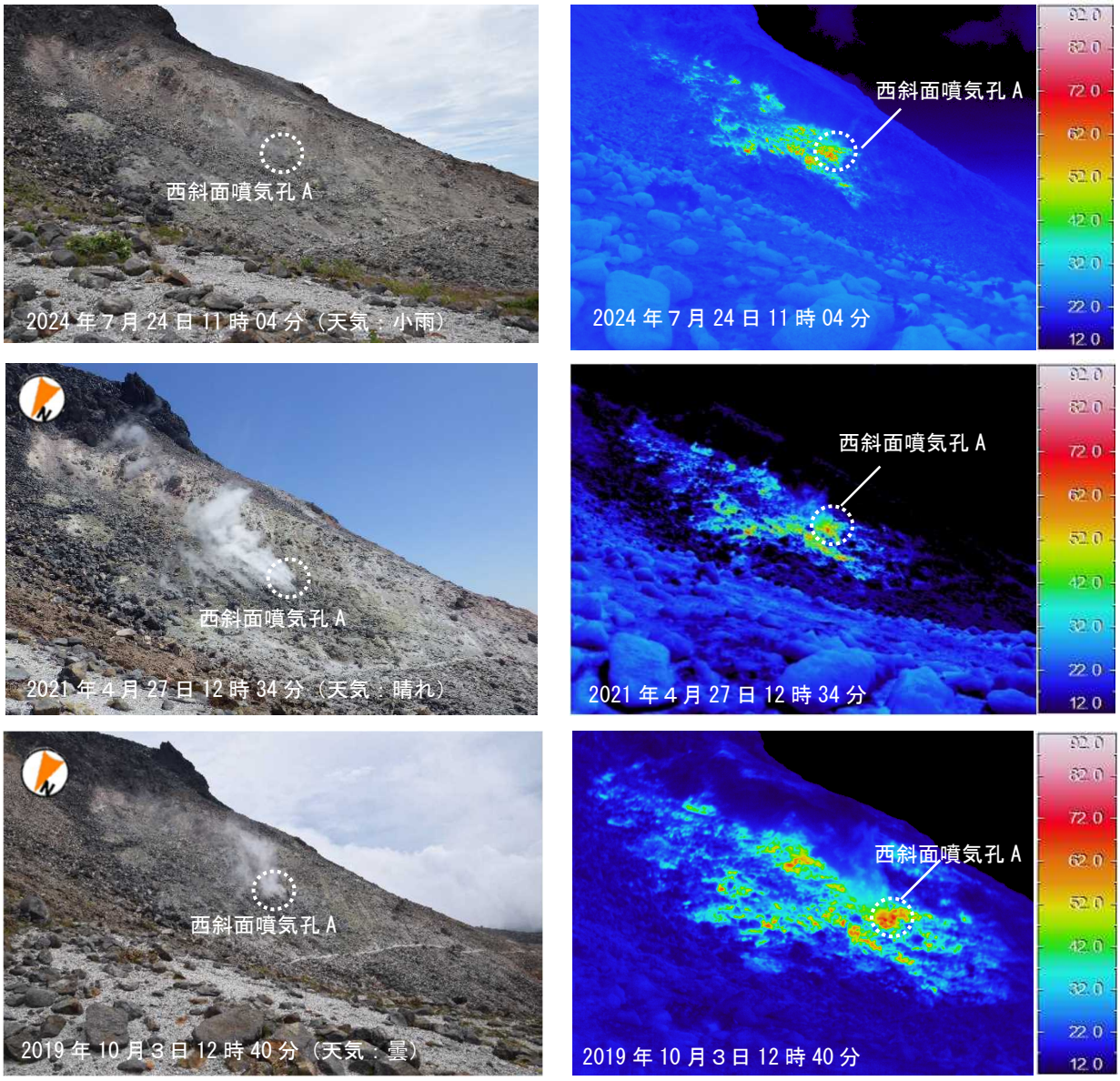
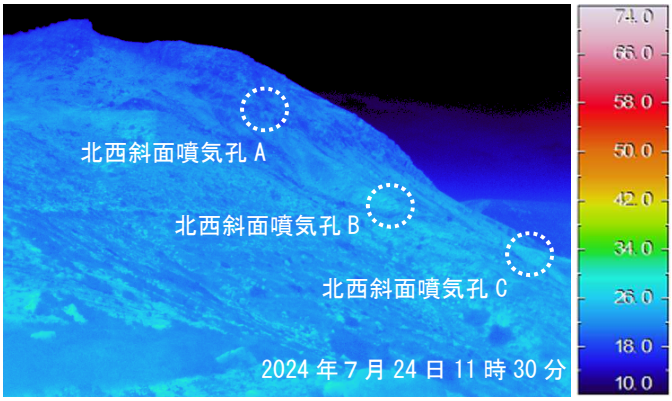
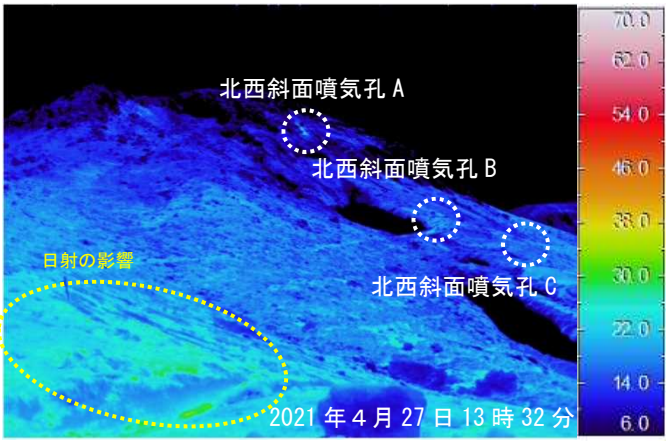


図３　茶臼岳西斜面無間地獄付近の状況

・赤外熱映像装置による観測では、前回観測（2021 年４月 27 日）と比べ、地熱域の分布に特段の変化は認められませんでした。
・前回観測（2021 年４月 27 日）と比較して噴気量は低下していました。





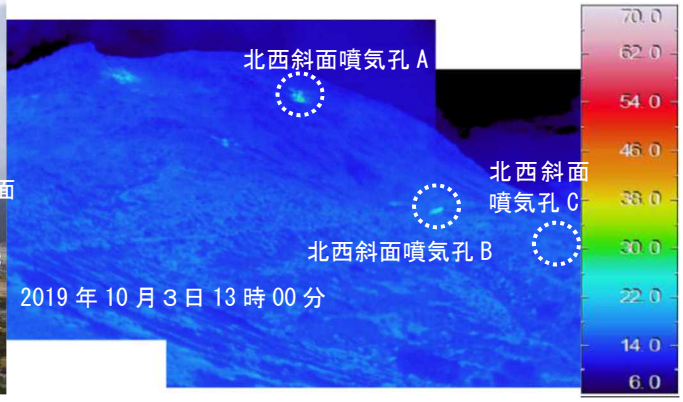


図４　茶臼岳北西斜面の状況

・前回（2021 年４月 27 日）に観測されていた北西斜面噴気孔 A からの噴気は、今回の調査では認められませんでした。北西斜面噴気孔 B、C でも噴気は認められませんでした。
・赤外熱映像装置による観測では、北西斜面噴気孔 A、B、C に対応する明瞭な地熱域は認められませんでした。

図５　那須岳　現地調査での撮影位置・撮影方向
（赤丸：撮影位置、→：撮影方向）

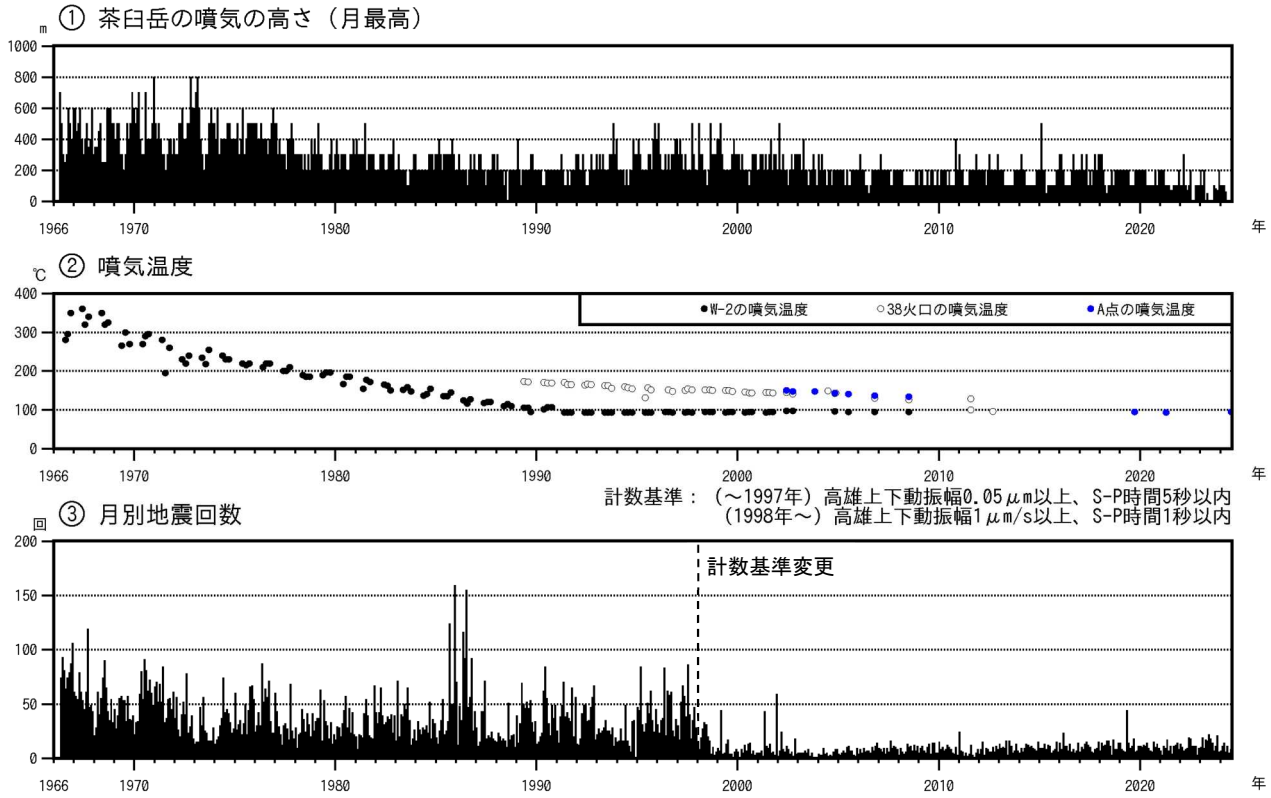


図６－１　那須岳　火山活動経過図（1966 年６月～2024 年７月）

① 2002 年２月以前は、定時観測（09 時・15 時）による月最大値
② 噴気温度の W-2、38 火口及び A 点はいずれも茶臼岳西側斜面の温度観測定点（図３－２）
③ 月別地震回数（～1997 年：那須岳周辺の地震を含む、1998 年～：那須岳山体付近の地震のみ計数）

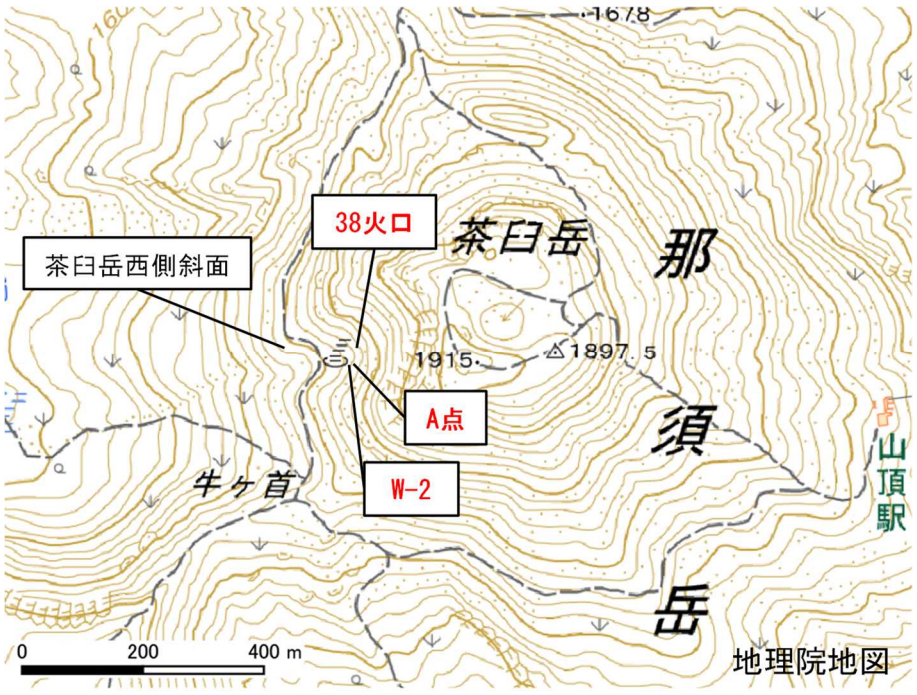


図６－２　那須岳　火口周辺図

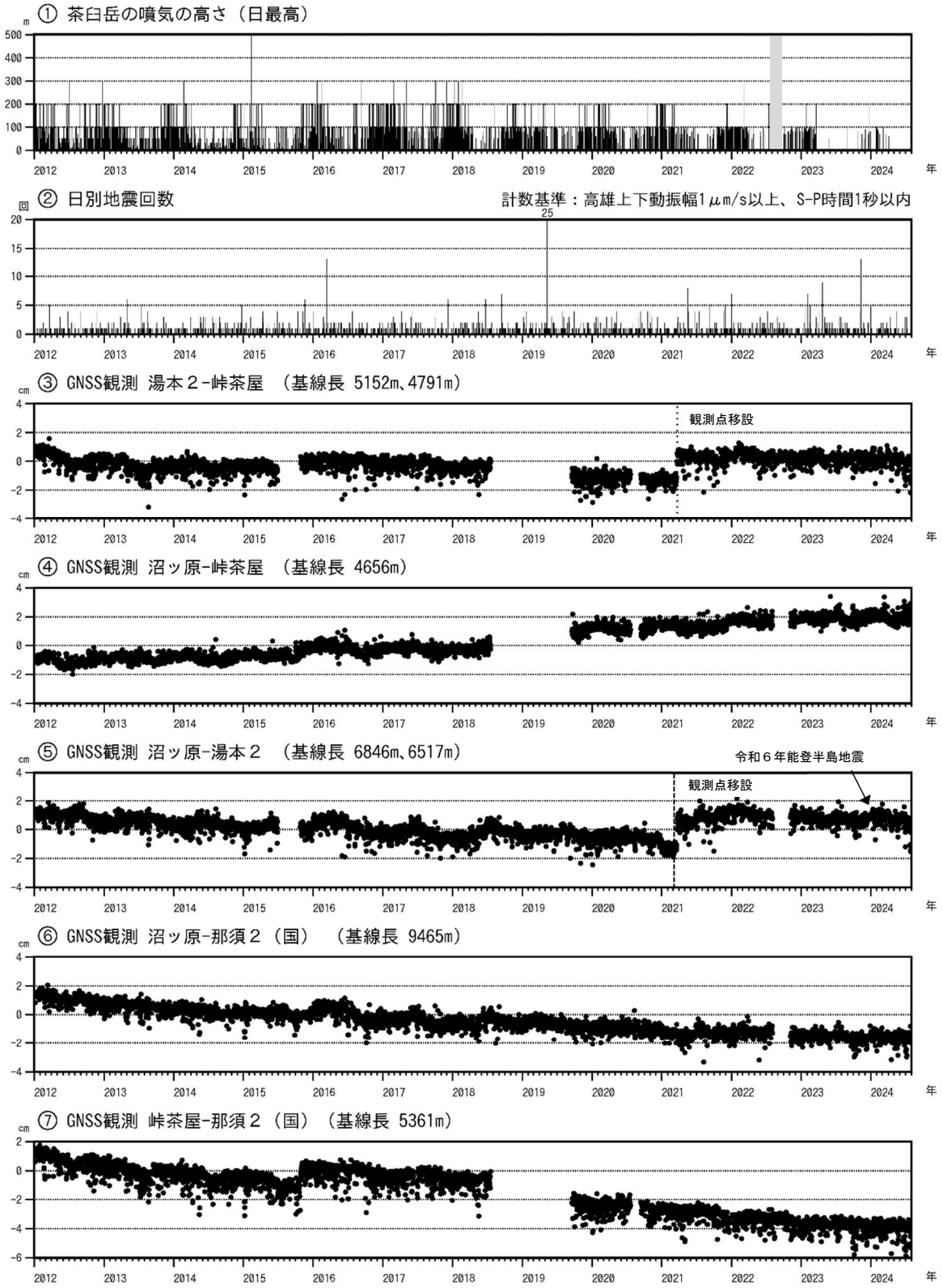


図７　那須岳　火山活動経過図（2012 年１月１日～2024 年７月 31 日）

①　　湯本ツムジケ平監視カメラによる観測結果を示しています。灰色部分は欠測を示します。

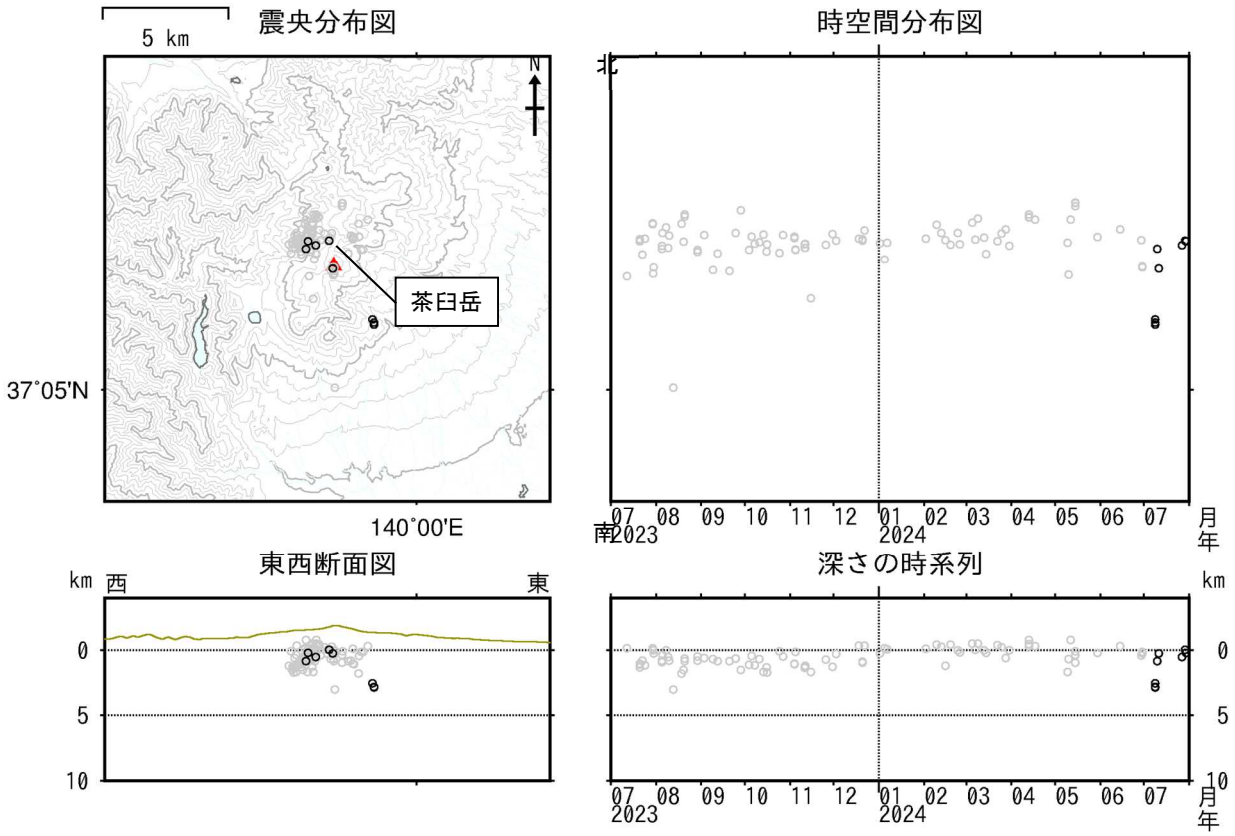
③～⑦　GNSS 連続観測による基線長変化を示しており、図６の GNSS 基線③～⑦に対応しています。空白部分は欠測を示します。2016 年１月以降のデータについては、解析方法を変更しています。
2024 年１月以降は「令和６年能登半島地震」に伴う変動も含まれています。

③⑤　湯本２観測点は、2021 年３月 23 日に観測点移設を行いました。

③④⑦　峠茶屋観測点は、2019 年９月９日に機器更新をしています。

⑤　　基線長変化にみられる夏季の変化は、気象等の要因と考えられます。

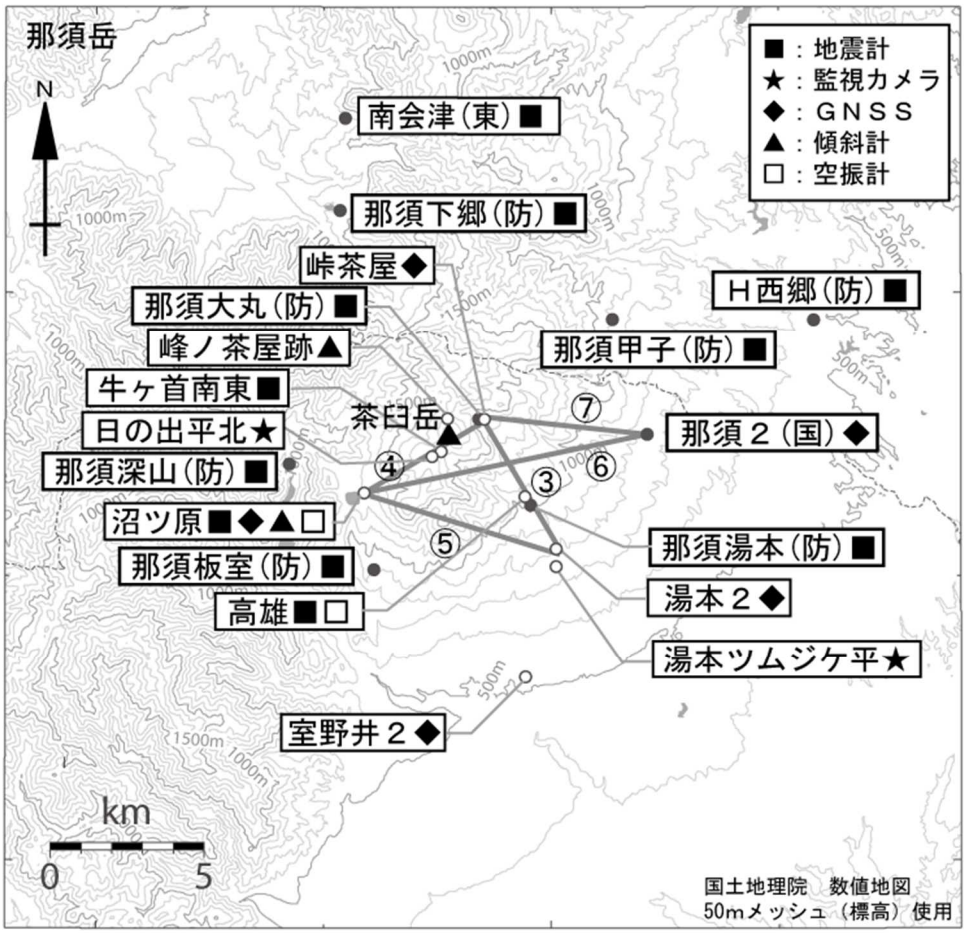
・噴気活動、地震活動は低調で、GNSS 連続観測でも火山活動によるとみられる変動は認められません。



○：2023 年７月１日～2024 年６月 30 日　●：2024 年７月１日～７月 31 日

図８　那須岳　震源分布図（2023 年７月１日～2024 年７月 31 日）

・那須岳付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しました。
・震源は、主に茶臼岳付近の深さ０km 付近に分布しました。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（東）：東北大学

図９　那須岳　観測点配置図

GNSS 基線③～⑦は図７の③～⑦に対応しています。